

## 放射線施設の遮蔽計算実務(放射線)データ集(2012)を

### より深くご理解いただくための補足資料

—6ページの補間計算表の分かり易い表としての表示—

#### 4. 実効線量ビルドアップ係数・照射線量ビルドアップ係数

.....省略.....

表にない場合には、補間式により求めることになります。

以下に遮蔽体コンクリートの場合の計算方法を表記します。遮蔽体がコンクリートで光子エネルギーが 1.173 MeV、mfp が 8.05 の場合。

実効線量ビルドアップ係数(コンクリート)の補間とその計算値

$t$ (mfp)	入射光子エネルギー(MeV)		
	1.0	1.173	1.5
8	16.6		11.9
8.05	17.9 ①	14.7 ③	12.0 ②
10	22.6		15.6

表の縦軸 1 MeV の①と 1.5 MeV の②は、Linear-log の式で求め、横軸 mfp 8.05 の 1.173 MeV の③の場合は、ビルドアップ係数を log-log の補間式で求めることになります。